

茶論「四季おりおり」—夏— 開催報告

「茶論・四季おりおり」では、春・夏・秋・冬を友として暮らす日本人のこころを再発見するために、「聞香」を通して楽しみたいと思います。

「聞香」とは、自然の恵みである“香木”を焚き、その香りに包まれ“森羅万象のこころ”を聞くことをいいます。毎回、テーマを通して、様々なこころを香りに聞いていきます。

2回目の今回のテーマは「夏来るらし」。

『文化藝術の会』会員様を中心に、ご参加いただきました。

【開催概要】

■「夏：『夏来るらし』」

* 目にも眩しい夏の草木の緑を感じ、お香を聞きながら万葉集の世界へ。

開催日時： 7月11日（土） 13時30分から15時30分まで

会場： 目白庭園 赤烏庵

講師： 伊達晟聴

主催： 財団法人日本文化藝術財団

助成： 日本財団、全日本社会貢献団体機構

後援： 京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

参加者数： 21名



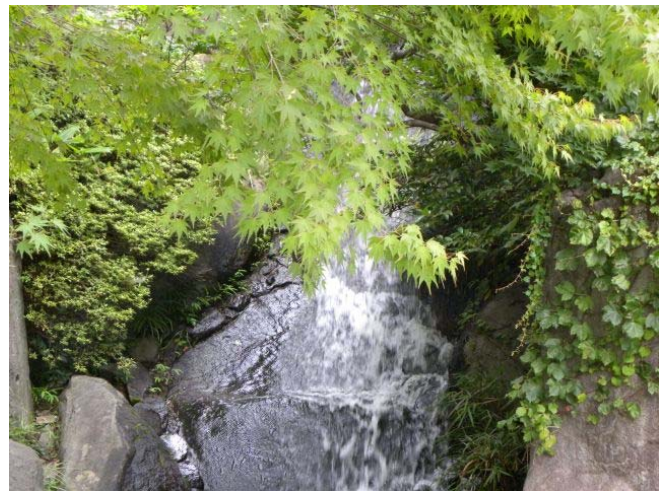
目白庭園



会場の赤烏庵



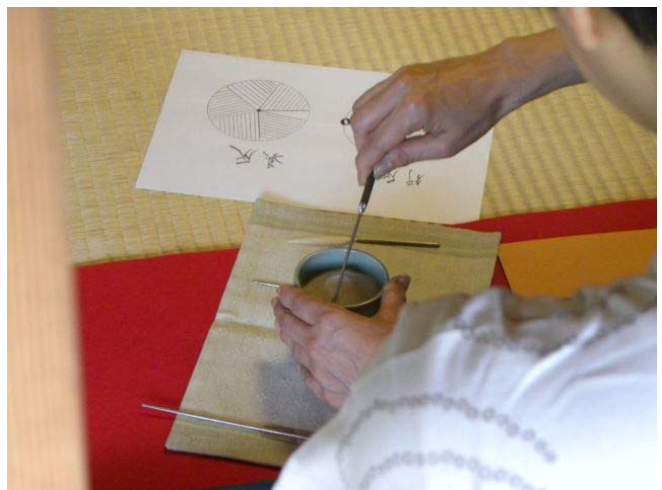
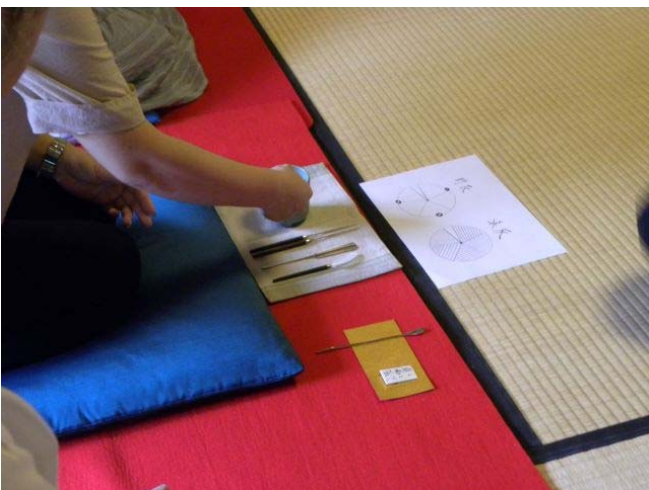
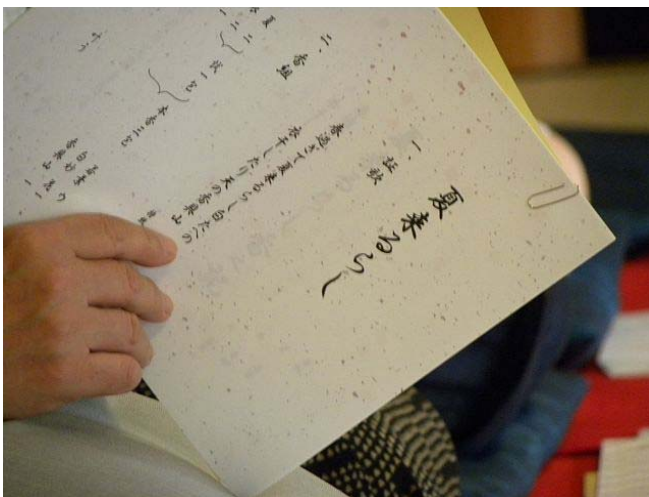
まずは、目白庭園内を散策。みなさまと一緒に夏を感じました。



庭園内は、目にも鮮やかな緑に溢れておりました



はじめに先生から本日のテーマについてのお話し



後半は実習形式で進めました。3人1組で、灰を整えるところから香を聞くまで。



6種類の香木を全て聞き比べいたしました。最後にそれぞれ、夏を感じる香木を選びました。



今回は、「夏」を感じながら、万葉集の世界へ。実習形式、賑やかに楽しんでいただきました。

※赤烏庵について

目白の閑静な住宅街に、開設された本格的日本庭園です。

限られた空間の中に日本人の自然観を凝縮したこの庭では、池を回遊する園路の随所で自然の造形美に出会えます。水際に築かれた石垣の上には、数奇屋建築の『赤烏庵』が優雅にたたずんでいます。深山を思わせる滝や石組み、水上に浮かんだ『六角 浮き見堂』からの大海を見るような眺めが都会にいることを一瞬忘れさせてくれます。(豊島区ホームページより)

【参加者のご感想】

- ・初めての体験で興味深く聞かせていただきました。
香の中に込める感情のバリエーションがたくさんひきだされました。楽しかったです。
和歌以外のイメージからも香を聞きたいと思いました。
- ・初めての参加でしたが、楽しくリラックスして勉強になりました。自分も今後知識を深めてゆきます。
- ・初めての経験でとても感動しました。
万葉集の歌を香りで気持ちを感じることが新鮮でとても勉強になり、楽しく過ごさせて頂きました。ありがとうございました。
- ・はじめて香道を体験しました。あっという間の2時間、奥が深いと感じました。楽しかったです。
- ・香の勉強をさせていただき、ありがとうございました。
香だけではなく、万葉集の主題をもって季節や歌を詠んだ人の思いに気持ちを合わせるとい、とてもいい勉強になりました。
- ・2回目の参加となりますが、少しずつ香に興味が出てきました。
- ・より深くわかったと思います。次回を楽しみにしています。
- ・お香は初めてです。とてもよい時間でした。香りに物語が結びついて、万葉集も立体的に感じました。
- ・ゆったりとお庭を拝見し、お茶、お香ととてもゆったりした時間を過ごさせて頂きました。いわゆるお茶会等は好きではありませんでしたが、このような会なら、又、是非、参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・初めての経験で、何をどうするのか無の状態でしたが、とても楽しい時間を過ごしました。世間のわずらわしい、せわしない生活からちょっとかけ離れた空間を、、、ありがとうございました。
- ・香りを通して宇宙を感じる。初めての体験は素晴らしかったです。未知の世界に一步踏み出せたこと、その機会を与えていただき感謝です。
- ・本日は風雅なひと時をありがとうございました。古き時代にも返ったようで素晴らしい体験でした。またぜひ参加させていただくとお思います。
- ・ゆったりとした時間を過ごせました。
- ・とても面白い体験です。

・楽しい時間でした。ありがとう。

・庭の緑、紅葉の色が景色を楽しみ、先生のお話、時間、楽しく過ごすことができました。